

縁起の思想

【法蔵館文庫】

仏教・哲学

三枝充憲著、一色大悟解説 ▼文庫判・並製カバー・376頁・定価 一、五四〇円

2024年8月刊行



「縁起」とは何か。そして誰が説いたのか。仏教史を貫く根本思想の起源と展開を探究し、その本来の姿を明らかにする画期的論考。

【目次】

まえがき

I 「縁起」とは何か

- 第一章 縁起思想の歴史
- 第二章 縁起について
- 第三章 「縁起」と「即一切」——「即」について
- 第四章 縁起説の根原の無常・苦・無我

II 「縁起」と「関係性」

- 第五章 関係性の思想
——仏教における自己ないし自己の現実との関係
- 第六章 関係（縁）・関係性（縁起）・関係主義（縁起説）
——「縁」から「縁起」への二つの仮説
- 第七章 関係と認識——十二支縁起説について

III 初期仏教の縁起説

- 第八章 初期仏教の縁起説
- 第九章 「これがあるとき、かれがある」
- 第十章 此縁性（イダツパチャヤター）
- 第十一章 縁起説の正しい理解
- 第十二章 縁已生と縁起
- 第十三章 パーリ律「小品」とサンスクリット『四衆経』との縁起説

第十四章 縁起思想史におけるサーリプッタとナーガールジュナ

初出一覧

解説 一色大悟

索引

◆著者・解説者略歴

三枝充憲（さいぐさ みつよし）

一九二三年静岡岡原生まれ。東京大学文学部哲学科卒業、大学院（旧制）修了。ミュンヘン大学留学期、國學院大學助教、筑波大学教授、日本大学教授、東方学院院长等を歴任。筑波大学名誉教授。文学博士。Ph.D. 勲三等瑞宝章受勲。

著書に、『東洋思想と西洋思想 比較思想序論』（春秋社）『インド仏教思想史』世親（いずれも講談社学術文庫）『仏教入門』（岩波新書）『大乘とは何か』（ちくま学芸文庫）『龍樹・親鸞ノート』『ブッダとサンガ（初期仏教）の原像』『三枝充憲著作集』全8巻（いずれも法蔵館）など多数。二〇一〇年一月一九日、逝去。

一色大悟（いっしき だいご）

一九八〇年愛媛県西条市に生まれる。東京大学大学院博士課程修了。博士（文学）。現在、東京大学附属図書館特任准教授。インド部派仏教思想およびその東アジア伝播と近代化を専門とする。主著『順正理論における法の認識』（山喜房仏書林、二〇二〇）。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法蔵館	定価 一、五四〇円
三枝充憲著、一色大悟解説	
縁起の思想	
【法蔵館文庫】	
ISBN : 978-4-8318-2674-9 C1115	
住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp